◆補強計画案のための意向調査

耐震診断申込者　　　様

酒田市建設部建築課

補強計画案のための意向調査について

耐震診断時に補強計画案（正式な補強設計ではありません。）を参考資料として作成いたします。補強計画は、多様な方法がありますが、可能な範囲で要望に沿う補強計画にするために、意向調査を実施しますので、下記の質問に回答をお願いします。

なお、耐震診断した結果や住宅の形状等により意向に沿った補強計画の作成が困難な場合がありますのでご了承ください。**（※診断者は、現地調査時に申込者に記入していただき、内容を確認ください。）**

**【質問内容】**

**問１．補強計画の基本方針について**

|  |
| --- |
| **□診断者の考えでやってほしい。　→　以下設問（問６へ）****□特に配慮してほしい内容がある　（例：外壁を前年度直したので、内部で検討してほしい。）**内容記入欄　 |

**問２．水周り部分（台所、浴室、トイレ）の壁の補強について**

　　　※水周りの壁の補強は設備機器移動や給排水の切り替え作業等があり、通常より工事費用が高めとなりますが、改修を検討している場合は、同時に補強することで、費用負担が軽減できます。

|  |
| --- |
| **□補強しない　　□極力避けて欲しい　　□補強してもよい（場所：□台所　□浴室　□トイレ）** |

**問３．大きな開口部（窓など）への壁を新設する。（サッシ幅の減（交換）、襖部分に壁を設置するなど）**

|  |
| --- |
| 　**□補強しない　　□極力避けて欲しい　　□補強してもよい** |

**問４．屋根材の軽量化（現在屋根材が瓦の場合のみ方該当）**

　　　※瓦屋根から金属系屋根材に葺き替えると、屋根重量が軽くなり、地震で大きく揺れなくなるため耐震補強

工事として非常に有効です。屋根の葺き替え等を検討している場合はお勧めします。

|  |
| --- |
| 　**□瓦のままがいい　　□屋根を先に軽量化してもよい　　□壁だけで補強できない場合はしてもよい** |

**問５．2階の減築（2階建てのみの方該当）**

　　　※2階を解体し平屋にすると地震に強くなります。2階解体費用、屋根の再構築費用がかかりますが、耐震性が著しく低い場合や、減築を考えている場合は有効です。

|  |
| --- |
| 　**□2階を減築してもいい　　　　□2階を減築しない** |

**問６．耐震診断実施後の耐震補強工事実施について**

|  |
| --- |
| 　**□補強工事を行いたい（　　　年程度以内）　　　□診断結果によって補強工事を検討する****□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |

耐震診断申込者氏名